

HOP, STEP, JUMP in 標津

「～夢いぎいぎ 萌える海と大地～ みんなで創る 新世紀」

広報しづ
8
2002
No.426



「祭りだ！ワッショイ！」

町内を練り歩いた子供みこし。子供たちの元気な掛け声と
笛の音が響き渡り、標津にも短い夏がやってきました。

(7月23日、神社例大祭より)

〈特集〉

みんなで考えよう…市町村合併 vol.2

まちづくり講演会

21世紀のまちづくりと市町村合併について

■まちづくり講演会■



講師 宮脇 淳氏

みやわき・あつし 昭和31年東京都生まれ。日本大学法学部卒。昭和58年経済企画庁物価主査。平成8年北海道大学大学院法学研究科教授、現在に至る。主な著書に「財政システム改革」「行財政改革の逆機能」などがある。

根室支庁管内町村会と町村議会議長会主催のまちづくり講演会が六月二十九日、町文化ホールで開かれ、根室管内から約三百五十人が会場を訪れました。

この講演会は、国、地方を問わず財政を取り巻く環境が極めて厳しい状況にある中で、課題となっているこれらのまちづくり、特に市町村合併問題について、住民の皆さんに、検討いただくための情報提供の機会をつくることを目的に開催。講師は北海道大学大学院法学研究科教授の宮脇淳氏。「21世紀のまちづくりと市町村合併について」をテーマに二時間にわたり講演しました。

講演会の内容を七ページに要約して紹介します。

はじめに

道

内においてもあるいは全国的にも、地方分権と市町村合併の問題は、大きくさまざまな影響をもたらしています。これから私が持っているいろいろな情報、事実関係を紹介しますが、市町村合併を考える上で、次の原点にもとって理解をいただきたいと思います。

「合併するしない」は手段で、目的ではない

その第一は、「合併する・しないというのはあくまで手段であつて目的ではない」ということです。それぞれの地域においてどういう地域経営をするのか明確な価値観がないと、この波を越えることはできないだろうと思います。地域のあり方、地域の生活というものを考えていかなければなりません。

目的は地域の経営をいかに確立するか

地域の経営ということを経営に言いますと、それぞれの皆様に

が住んでいる地域の価値観なりブランドというのは一体何なのかということを確認に打ち立てることです。これにより、きちっとした自立したまちづくりが出来るのではないかと思います。また、「地域らしさ」この異なる資源というのはいったい何なのか。

我が国は非常に早いスピードで成長し、北海道やこの地域においても、五十年前に比べると生活水準・生活環境というのは、ある意味で言うところと水準的に改善してきたということが言え

地域の実態をもう一度見直す

そして三番目は、「国や道への依存は極めて限定的」に考えるを得ないということです。

今、一番力を落としているの

は国であり、次は北海道です。今の状況は、非常に殺伐としているし、虚しいものがあるなどというふうにお考えになられると思います。それくらい今回の問題というのは深刻です。

市町村合併の前提として「地域の実態をもう一度見直す」ということが必要です。合併の問題は財政という面から迫られています。それぞれの自治体の財政の実態について住民がどれだけ知っているかが、行政側もまたどれだけ提供してきたか、きちっと把握をしていかなければ



講師の話を実際に聞き入る出席者
(6月29日・町文化ホール)

用語解説①

●「プライマリーバランス」とは…

一般に財政の基礎的収支をいう。公債償還費(過去の借入額の元利金返済額)を除いた歳出が公債発行額(新たな借入額)を除いた税収入などで賄われる状態を「プライマリーバランスの均衡」という。現在の行政サービスにかかる費用は、将来の世代に先送りすることなく、現在の税収などで賄うという財政秩序を守るための指標として用いられる。

国はプライマリーバランス用語解説①を達成

す。国はプライマリーバランス用語解説①を達成

市町村合併に対する国家の戦略は「強制的合併」です。今までは市民・町民の皆さんが自らの意思によって設定し、投票し

て決めるという自主的合併です。これは確かに法律上はそうなっています。しかし、一方で意思決定することに対する条件を厳しくしていくというふう

す。財政という資金繰りを確立させるために、今日の市町村合併が手段として設定されているという事です。国の方は地方分権・地方自治と言っているのに、一方で、財政面においてはどんどん締め上げてきていま

す。国家財政、国の財政繰りは平成十八年度以降極めて厳しくなります。平成十七年度までに市町村合併・地方財政の姿を明確にしておいて、そうすることによって、平成十八年度以降の国の財政危機をどうするかを考えることができるということだと思います。だから平成十七年度までに決めてくださいということ

今

回の市町村合併の根底にあるのは財政危機の問題です

市町村合併への国の姿勢
国家財政危機の深刻化
が背景に

その一つが財政の問題です。少なくともここ数年間は地方交付税といわれる国から入ってくるお金が毎年一割前後は減ってきていると思います。地方交付税が一割減ってしまうと、かなり見直しをしないといけないといういろいろな政策をやっていくことが難しいという現実です。

はなりません。

するために「財政再建をやりましょう」と言っている。平成十七年度の国の予算で歳出は、概ね約九十兆円なのに対し、税収などで入ってくるお金は約五十兆円しかない。そのうち、借金返済金となる約二十兆円は国債発行(借金で賄うこと)でも仕方ないが、国が歳出を絞り込もうとしている額は事実上不足する二十兆円です。

しかし、プライマリーバランスの考え方から言うと借金を増やすことはできない。ほかの歳入の増か、歳出の減でやるしかないわけです。歳入の方の最大の話は消費税です。消費税一%引き上げると、国の税収は大体二兆円増えます。今の税率は五%ですが、これを一〇%引き上げれば二十兆円入ってくるわけです。しかし、今十五%に引き上げると国民生活に大打撃を与える訳です。もし九%になったとしても、四%増で八兆円しか入ってこない。残りの十二兆円を絞り込まなければならぬ。歳出のほうを絞る部分というのは、社会保障関係費の削減は非現実的ですから、残るのは公共事業関係費と地方交付税です。公共事業費はもう削減されてきています。一番削減を選択

しやすいのが地方交付税です。

これは今回の市町村合併における根底にある問題です。いま二十兆円近く出ている地方交付税額は、おそらく最終的には十六兆円くらいに落ちていくと思います。地方交付税が二割減らされたならば、予算編成が極めて難しくなります。借金もだんだんと出来ないようにしてければ、もつと厳しくなると思います。

衆議院の選挙活動の効率性

もう一つ「衆議院議員の選挙活動の効率性」があります。小泉総理は最終的に全国の市町村数は千にと言われています。総務省はなぜあれだけ強い姿勢で合併に望んでこられるのか。それは明らかに政治の裏打ちがあるからです。

これからは全国的に人口が減少していきます。一億三千万人弱から百年後には六千万人になります。その六千万人の人口に対して選挙活動をするとなれば、選挙活動を繰り広げられる地域は集中していったほうがいいんです。大多数の党はこの合併に対して反対という姿勢はとっていないと思います。

今回の合併の議論というのは、この二点から私は強制的合併だと思っています。その是非はあると思いますが、事実関係としてはそうだと思っています。

特例期限限定の意味と延長の可能性

平成十八年度以降、国の財政が極めて悪化する理由は、借金の返済がピークになること、公務員の退職がピークになり退職給与を支払わなければいけないからです。こういったことで財政繰りが平成十八年度以降極めて厳しくなるので、平成十七年度までに市町村の姿勢を決めてくれと言っています。

しかしそれでは、そのこと自身全く意味がないのかというと、平成十七年という意味を決めたのがもう一つありまして、法律上の手続を淡々ととっていかれば、平成十七年に意思決定ができることにはなっています。そしてこれは地域のことを住民の皆さんと一緒に考えてみるということだと思っています。そういうことが今まで、おそらく十分ではなかったような気がします。あるいは、役所のことを十分に理解する機会が、必ずしもな

ったと思います。戦後成長してくる毎に、一定のことは役所に任せるといふ姿勢が強まってきたと思います。正直言いますと、地域と役所との間の距離感というものは広がっていったという側面を持っています。

この機会に地域のことを住民の皆さんがもう一度議論してみたい機会だと思っています。その結果、合併する・しないの結論を得るのであれば、その地域は非常に強くなります。それをしないで平成十七年を迎えたならば、地域を維持することは非常に難しくなるかもしれません。それが現実だと思っています。

そして、国は合併の特例期限は99%動かしません。これを動かしてしまつたら、国の平成十八年以降の予算繰りがつかなくなるからです。ただし、若干流動的な面があるかもしれません。今は、平成十七年度までに決定しておいてくださいと言っています。

平成十七年度中に合併を決定するための法定協議会が間違いないと設定されていけばいいですよというレベルにするかもしれません。それは、これからの合併の動き次第ですが根本的に変えられることはありません。

期限付き特例措置の課題

次に合併する・しないの結果どうなるかということです。

合併すると期限付きの特例財政措置がもらえます。特例措置というのは、それぞれの自治体が、今のままいる状況よりも交付税の減額が小さくなりますということです。十年間減るスピードを緩やかにしてもらえて、十年間はそれを維持します。後の五年間については、暫時減らしていきますというやり方です。確かに財政繰りがどんどん悪くなってくるし財政措置が受けられる点は魅力的です。

積極的に考えていく一つの選択肢であると思います。ただし、合併をして財政的に楽になったからといって、今までと同じ歳出ができるのかというところできません。十年間で歳出構造の見直しをする必要があります。

合併特例枠から外れる意味

それでは、合併しないときはどうなるかです。先ほど交付税額全体が減らされると申し上げました。国から地方に回ってくる交付税額が二十兆円台から十

兆円台後半になります。一方で、合併によって優遇される自治体があるわけです。

そうすると合併しないほうにとってみると、おそらくイメージとしては、これはトーンと下がってきます。足元からすぐ歳出構造の徹底した見直しをしなければいけません。合併をしないで地域の価値観のなかで自立して行くんだという決定をすることは非常に重要で合併に劣らず選択肢としては大きいです。

合併したからと言って全てが解決する問題でもなくどちらの選択肢をとったとしても、財政面から、今までよりも良くなるということを目指すのは難しいです。

日本経済の背景とグローバル化で

人口減と右肩上りの経済の終り

今

このように厳しい状況になっているのは、一つは急激な経済成長です。戦後五十年間を振り返ってみて、世界史のなかでも異常な成長と言われている。

これまで、この戦後の異常な成長が当たり前だという制度を

作り上げてきてしまったんです。典型的なのは年金です。年金は、必ず次の世代の生涯所得のほうが大きいのというのが前提として作られています。次の世代の人たちが、前の世代を作ってくれた人たちの老後を支えられるでしようという仕組みなわけです。

ところが私の子供を見ていると、今の私よりも所得が大きいということは保証できません。その最大の要因が人口減少です。人口が減少すれば同じことをやっていけば所得は減るという事です。これが、右肩上がりが終わった最大の理由です。

閉鎖的金融市場

そして二番目は、閉鎖的金融市場です。今までの我が国を支えたのは、護送船団とか言われた金融体質です。役所は借金したいと思えばいつでもできました。今まで公的部門の借金というの、日本では一番信用力があり、まず踏み倒されることはないということ、ほとんど金融機関は貸してきたわけです。ところが、最近そうはいかなくなりまして、借金を増やしてこられたのは、十年経って返済するときに、また新しい借金をす

る上に、借金を返済するお金もまた借金できたからです。ですから、現金は実は減らしていません。

つまり国債というのも永久債なんです。しかし、今まではほとんど所得が増えてきたのでそれでも良かったのですが、最近銀行も現金が欲しいんです。今までは国にしても地方にしても、資金繰りをつけることに限しては極めて楽だったのですが、今まで通りできないという問題が出てきました。

グローバル化の進展と地域の価値の確立

何でそんなことになったかという『グローバル化』という問題があります。非常に切実な問題です。農産物の価格や工業製品の値段が下がってきている原因は何なのか。これは全て『グローバル化』という問題です。国際化という問題ではありません。国際化というのは国家間という意味で、国が存在するということを前提にしています。『グローバル化』は国の垣根も取り払おうとするものです。国家の枠組みを超えて地域や企業が動き回ることを意味しています。

こうなってくると国という単位で考えることに限界が出てきてしまったわけです。環境問題なんかは典型です。日本政府がいくら考えても、それに限界があるわけです。したがって地球規模で何かやらなければいけません。一方で、国内に目を向けると国の考えることは大き過ぎるんです。今まで補助金というのは国が画的にやってきました。そうすると、もっと地域にあつたつくり方があつたのではないかということが議論されだしました。今グローバル化というなかで、国のあり方というのを議論してきています。

ここで一つ申し上げたいことは、市町村合併などという問題ではなくて、その根底にあるグローバル化という世界にあつて物事が動いていこうとしているなかでは、それだけに乗っかってしまったならば、この地域を維持することはできないという事です。グローバル化というのは規模が大きいことを求めています。この地域よりは札幌に、札幌よりも東京、東京よりもニューヨークにお金を持つていった方が儲かります。それがグローバル化です。では、こういった流れを克服

して地域を守っていくにはどうしたらいいか。これは、言葉でいいますと「ローカルスタンダード」といいます。地域の価値をいかに確立するかの問題です。

地域経営の視点

異なる資源での競争を

戦

後五十年間の我が国の政策は、均衡ある国土の発展という名目で、どこ地域でも最低限の生活水準や経済活動は維持できるようにレベルを上げていきました。これによって北海道もある程度の水準を確立することができました。

しかし、ここで考えなければならぬのは、それは人口が増加をしていき、経済が成長をするなかで成り立った仕組みだったということ。そのなかで欠点として上げられるのは、北海道と東京の経済資源を同質化してしまつたということです。今、札幌市は東京と同じになりました。札幌市はサラリーマンに非常に人気があります。なぜ人気があるかといいますと、東京二十三区と同じ生活がで

き、プラスをして市バスに乗ってパウダースノーのスキー場に行けて、定山溪にも行けますということですから。これは利点でした。

しかしこれからは欠点になります。始めます。というのは、人口が減少してくると、異なった資源がよっぽど無い限りにおいては、東京と同じまちづくりをしていったならば、札幌より東京に住んだ方がおそらく恵まれた生活になります。

このように、同じ資源で競争をすれば、大きいところが勝つんです。そうすると、異なる資源で競争しなければならぬ。

同質の中の価格競争で典型的なものといえば量販店。大きなものを持つてきてドーンとやるから価格がダウンと下がるんです。同じものを売っていれば小

売店はどんどん厳しくなっています。ですから、どうしても異なるサービスをつけるなり、異なる商品を作るなり、異なる売り方をするしかなかったてきます。それは異なる資源を見つけていくということです。これは地域のまちづくりにとってもまったく同じです。

インフラなどもまったく同じです。日本というのは、高速道路を整備すると人口が都市部に移っていきます。ヨーロッパは、道路を整備すると人口が分散されていきます。これは高速道路に責任があるのかという問題ではなく典型なのです。

なぜヨーロッパで人口が分散するのか。それぞれの地域で、かたくなといわれるほどの異なる資源を持っているからです。ですから、移動が楽になるこ

とによって、自分が求める地域を選択して移っていきます。ところが日本の場合には、どこへ行っても同じような資源にしまつたがために、同じ資源であれば都市部に行つた方がいいということに移っていきます。

このように、今回の市町村合併を考えるとときには、皆さんの地域にきちっとした柱としての異なる資源というのは何なのか、そのブランドは何なのかというのを、もう一度議論するべきだと思えます。それがなく、同質化を進めていくなかでは、この十年後に、もう一度合併をしなければいけなくなるかもしれません。

地域に残る価値観とは何なのか

地

域経営の視点を一言で言いますと、今までは役場が住民や地域をかなり支えてきましたが、もう役場は限界だと思えます。役所には、本当に公共サービスとして地域を支えてもらえなければならぬところに集中して役割を果たしてもらわないと困るのです。

今まではそうしたものの以外のこともお願いしてきた。公共サ

ービス・イコール・行政サービスになつてきた。行政サービスというのは、役所が提供する公共サービスのことです。公共サービスというのは、地域の住民の皆さんや民間企業がそれぞれで提供しあつてもいいんです。

そういう役割分担をしていかなければいけなくなつてきました。今までは役場は一生懸命、国や道からお金をもらつて皆さんの要望に応えてきました。人的資源もいっぱい使つてやつてきました。その結果、借金もたくさん背負い込みました。そういう資源は逆に小さくなつてしまっています。住民や地域からの求めに対応できなくなつてきました。

本当の自立ということであれば、役所にお願ひする部分と、住民の皆さんが自らするもの、そういったことを真剣になつて議論していかないと、地域を支えてきた行政は無くなつてしまふかもしれません。あるいは、今みたいな仕組みや地域の価値を最大限に引き出すための行政の区画を考えると、この地域の価値を最大限に生かし、地域の生活を高めていくための一つの手段ですから、それ

を一番引き出していくための行政区画はどこにあるのかを求めていくことです。それが今の単位が一番いいのであれば今の単位でやるし、そうでないのであればもう少し拡大させていく必要があります。重要なことは、公共サービスの提供は行政に独占されるべきではないということです。

このことをもう一度考えて、住民や地域が一定の役割分担をしてもらう。それは金銭的な面だけではなくて時間的な分配もそうかもしれない。その結果、地域のブランドとは何なのかを、もつと考えるということだと思います。

最終的に地域にきちつと残る価値観というのは一体何なのか、それは地域から動かせない自然であり、色々な面でのコミユニティだと思います。東京の人が流水を見たいといつても、流水を船で引きずつていつて東京湾に持つていくわけにはいかないわけです。北海道に来てもらうしかない。結局どんなにグローバル化や同質化が進んでも、あるいは情報化が進んでも、最も重要なところは外へ出さないということです。そういう戦略をとつていかなければなら



平成17年度以降の市町村

合併をした場合と合併をしな
い場合、どちらでもこういう状
況です。ただし、相対的に言え
ば、特例措置がもたらえた方が楽
になります。しかし、どちらに
しても、この前提として地域の
ブランド、価値観というものを、
きちっとコミュニティを通じて
議論しておきませんと、十年後
以降においては優遇措置がだん
だん無くなっていくなかで、か
つ人口が減少していく局面にお
いては、同じことを繰り返して
いつてしまう。それは避けなけ
ればならないということだと思
います。

「21世紀のまちづくりと市町村合併について」講演する宮脇氏



「強制合併」か
「権限の限定制」か

平

成十七年以降、ど
ういうことになる
かということだす

が、おそらく、今よりもっと
合併に向けた財政面の圧力とい
うのが強くなると思います。

それともう一つは、よく言わ
れる市町村の権限の限定化で
す。今は、どういう市町村でも
原則は全部同じ権限が持てるよ
うになっています。しかし、そ
れぞれにおいてそれを個々に選
択してくださいということにな
ります。

そのどちらかになると思いま
すが、強制合併に近い選択をす

るか、権限の限定性をするかとい
うのは、国の地方分権の方針
の中にも書き込まれています。

道州制への議論の本質

これらの状況の中で、最近非
常に大きな問題になってくるの
は道州制（用語解説②）です。

北海道にとって道州制がどう
描かれるかは極めて大きな問題
だと思っています。道政府を誰
が主体でつくるという問題なん
です。道庁が主体でつくれる保
証は無いんです。国も行政改革
をやります。国家公務員も組織
も余っています。ということは、
道政府・州政府の主体は、もし
かすると国の機関が中心となっ
て作る選択肢も大きいのです。
北海道庁というところが主体

用語解説②

●「道州制」とは…

広域的な地方自治体組織編成の一つで
いくつかの形が考えられる。一つには全
国の都道府県をいくつかのブロックに分
け、市町村ごとには実施しにくい広域事
務を行う行政体制のこと。

事務内容や区画、その主体などの明確
な定義はないが、例えば国の出先機関の
仕事なども移し、国、都道府県、市町村
の間の事務を再編して役割分担を明確に
し、合理的な事務処理や自治能力の充実
強化などに資する目的。

前につくつていたただかなければ
いけないんですが、それに対す
るきちとした理念を今からつ
くつていく必要性があります。

地域間競争の高まりと
地域ブランドの再確認

最後に地域間競争の高まりと
地域のブランドの再確認という
ことです。最終的に、結論とい
うのは合併する・しないは手段
ですから、それはもう地域で決
定いただく。どちらを選んだか
らといって、結論が成功だとい
うことは言えないと思います。

ただし、重要なことは、合併
という問題の背後には、「グロ
ーバル化」とか「財政危機の間
題」「人口が減少する」という
根底の問題があります。地域が

行政と一体となって、この議論
をしていくということが地域の
体力を強めていくことだろうと
思います。

おわりに

今

日、いろんな問題
を紹介しました。

こういった問題と
いうのは、事実としてまず受け
止めていただきたいと思いま
す。そのことに対する評価はあ
ると思います。

しかし、この事実関係という
のは、大きな流れとして、いま
生じてきています。この流れの
中でいろいろなことを考えてい
くのか、あるいは流れとは距離
をとって考えていくのか、その
ことについて選択肢を持つて、
地域として政策を展開し
ていくことだと思いま
す。

そのことが初めて地域
を自立させていくことにな
ります。そういう議論
を展開をしていっていた
だくための一つの材料と
して、今日何か皆様の中
にお役に立てることが残
れば、それが今回のお時
間をいただいた一つの成
果かと思っています。

質疑応答

合併特例債の問題は…

Q

合併特例債（合併後の市町村がまちづくり事業のために元利償還金の七〇％の交付税措置のある借入（地方債）ができる）の問題と評価について詳しく説明願いたい。

（別海町・中村さん）

A

特例措置というのは、足元でいうと非常に使い勝手のいい話です。ただ問題なのは、この十年後以降のところで特例地方債に対する元利償還を国側の制度としては一応考えているが、財政繰りとして百割の担保があるというふうに考えることは難しいと思う。

特例地方債を増発した分、今までの普通の地方債のほうに影響が出てくると思うので、純粋に増えるというふうな話で、長

期的に構えることは難しいのではないかと思う。

今後の経済成長の行方は…

Q

合併問題は、財政という問題が基本になってくる。財政と

いう問題を考えると、やはり経済がどうなるかということに繋がっていく。今、いろんな経済の問題が、我々の耳にも入ってくるが、その経済問題を捉えていくと、いろいろな学者が、いろいろな方法を提示している。どこまで日本の経済が成長するのか、日本の国民総生産がどこまで伸びるのか、それが日本の財政の基本になっていくと思うが、それが私たちには明確に伝わってこない。

ここまで経済が伸びたから、財政はここまで伸びる。そういうなかでやれということであれば止むを得ないと思うが、あまりにも学者そのものの論理というものが多くだけに、私も何が信頼して、どこまで経済の成長を考えるとこういうことが大きな基本になっていくと思うが。

（小日桐標津町長）

A

まず今までの経済成長はありません。国民総生産というのは経済規模で、これ以上伸びるというのは考えられない。伸びなくていい。変な言い方だが経済規模は例えば横ばいでもいい。

何故かという、人口が減少するから。皆さんの家計の所得が経済全体の所得だとすると、家計の人数が減っていくのと同じ。そうすると、今までは人口が増えてきたから経済も増えなければ一人当たりの所得は増えなかった。これから経済を今のレベルで維持して所得を維持できれば、人口が六千万になれば一人当たりの所得は増えるはず。ただ、今の状態はどちらかというと右肩下がりです。人口が減るのと同じぐらいで減ってしまうか、もっと落ち込んで苦しいという状況。

今のご指摘だが、財政を支えるのは経済。それを少なくとも横ばいで維持させると一人ひとりの所得は伸びるはずで実質成長になる。これをやるために一番重要な問題は日本全体で、それぞれの地域で、異なる資源で競争すること。同じことをやっていけば安いものが入るから必ず中国のほうが勝つ。質も良く

なってきたので、今までと同じ物を作っていれば中国に負けてしまう。例えば、ニュージーランドは徹底した有機農法などをやって価格競争には乗らない商品をどんどん提供している。今までと同じことをやっていくことによって、東京を中心とした同質化を進めることのほうが、むしろこの構造をもっと下に落としていってしまう危険性がある。だから、地域の異なる資源を伸ばすような政策をとらないと、一気に折れると思う。それを行うことが本当の意味での地方分権だと思う。北海道地域でも、今の横ばいにおくことさえできれば、実質の一人ひとりの所得というのは伸びていくはず。そのための手法は何かを、私も含めて実践的に考えていかなければいけない。

住民対話の手法は…

Q

地域のブランドを高めていくことが重要で、そのために住民と対話し、地域ブランドとは何かということを確認していくことが必要だと話された。話し合いといっても数千人、数万人、一たら一概に難しいと思うが、

その具体的な手法があったら教えてほしい。

（標津町・和田さん）

A

話し合いというのは、みんなが一緒に集まって討論

するわけではない。まず、行政と住民の距離をもっと近くすることが必要。例えば、行政側の財政状況がどうかということ、あるいはこれからの財政がどうなるか、といったようなことを十分に情報が共有されていたかということが重要。それがそうでないのが今の仕組み。

高知県では、県を四つぐらいに分けてそれぞれの住民とともに一定割合の予算を編成するやり方をしたり、水源税の税額については、住民にコスト計算を一緒にやつてもらって、税額をきめるとかそういう一体感を持たせるような仕組みというものを導入していくのも一つの手ではないか。

●本文の各見出しは、紙面の関係上、要点整理のため附したものです。

なお、講演会の全文をご覧になりたい方は、企画振興課まで問い合わせください。原文と収録テープを用意しています。

みんなの 広場

このコーナーは、読者のページです。
あなたの声をお寄せください。

分かりづらい

役所の手紙…

Q 先日、役場から老人世帯へのごみ袋配布についての便りを受け取りました。ありがたいことですが一言、手紙の案内状の内容が不思議でなりません。役所の手紙というものは分かりづらく、老人世帯の我々には理解しかねます。

「案内状が届いても対象にならない場合もある」と言う文面です。始めから調べて対象にならないのなら手紙を出さないでください。内容の理解に苦しみ何度も読んでいます。

また、「役場窓口にて課税台帳を確認後、収集袋を配布します」と記してあります。始めから確認して案内状を送付してください。無駄な経費の削減です。

(老人世帯より)

A

ご指摘がありました件については、高齢者世帯を対象に一般廃棄物処理手数料の一部を減免するもので、一世帯当たり年間千八百円相当のごみ袋(町指定の廃棄物収集袋)を無料配布しています。

該当する「高齢者世帯」とは、前年の所得税が非課税であるこ

とが前提条件で、①六十五歳以上の一人暮らしの世帯②夫婦で一方が六十五歳以上でかつ一方が六十歳以上の世帯です(いずれも四月一日現在)。

次に、所得税が非課税かどうかの確認についてですが、課税状況はプライバシーに関わる個人情報であり、町職員といえどもこれを確認するためには本人の同意が必要になります。このため、①か②に該当する全世帯(約三百十世帯)に通知をしています。本人が非課税かどうか分からない場合については、納税者本人が税務課窓口で直接確認をいただくか、本人からの課税状況確認の「同意書」により職員が課税状況を確認しているのが現状ですのでご理解願います。

また、「役所から届く手紙の内容が分かりづらく、老人世帯には理解しかねる」と言うご指摘については、今後、読まれる住民の立場になって、分かりやすい内容に改善していきます。不明な点については、住民課までお問い合わせください。

(住民課)

●このコーナーは、読者のページです。町や広報紙へのご意見要望などをお寄せください。

作品紹介

川北児童館に遊びに来て
いる子供たちの作品を紹介
します。

(敬称略)



「お散歩」

もり い 森 井 まりの (川小1年)



「ピクニック」

はた 畑 のぞみ (川北幼稚園)



「かわいいお部屋」

あ べ 阿 部 み 加 (川北幼稚園)



「うさぎと犬のお散歩」

あ べ 阿 部 り 玲 那 (川小2年)



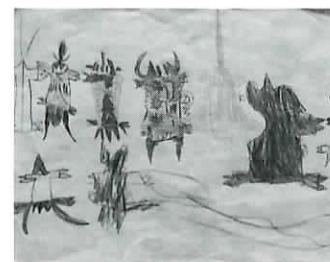
「ピカチュウ」

おく 奥 りょう 稜 真 (川小2年)



「遊んでいるところ」

おく 奥 あや 彩 華 (川小1年)



「クラッシュ ギア」

すず 鈴 き 木 ゆう 雄 斗 (川小1年)



福澤 英雄さん (南6西4)

HIDEO FUKUZAWA



分の孫に『ここが、じいちゃんの生れたところなんだよ』と言ってみよう。これが夢なんです。生れ故郷の北方四島・歯舞群島多楽島の方向を指差しながら話す福澤さん。

この故郷を想う気持ちをじつと胸に、平成元年から始まった北方四島・ロシア人とのビザなし交流事業に協力している福澤さん。今までに、ホームステイやホームビジットでロシア人の受け入れは三十人にも。受け入れの際に毎回開かれる全体の歓迎レセプションでは、ロシアの

「日ロ友好のため 力を尽くしたい」

民族衣装を身にまとい、ステージに立つ福澤さん。「カチューシャ」などをロシア語で歌い、

会場を和やかな雰囲気包み、友好の輪を広げています。

これら長年の活動が、北方領土返還運動の推進と日ロの友好親善に寄与した功績として認められ、今年二月に外務大臣から感謝状が贈られました。

福澤さんは、北方四島との交流について静かに話します。「ロシア人の兵隊から島を追いつた当時(福澤さん六歳の時)のことを想えば、正直言ってロシア人とのビザなし交流は、始めは抵抗がありました。しかし、よく考えてみると今の島民には何の罪もないこと。自分の生れ故郷に住んでもらっている人たちだと頭を切り替え、逆に親しみを持つようになったんです」

また、福澤さんは、北方四島元居住者の会員で組織している千島歯舞諸島居住者連盟標準津支部の事務局相談員としても活躍中。元居住者からの相談に応じたり、本州から訪れる修学旅行生に「北方領土・学習」として、

現地の生の声を伝えています。「北方領土返還のため、日ロの親善・友好のため、エネルギーが続く限り力を尽くしたい」。

福澤さんのひたむきな活動は、これからも続きます。

これが
標津の
♡ 好きなんです。

この温泉は、お湯がいいんですよ。なんと言っても一番は、疲れが取れること。だから毎日、入りに来ているよ。自分にとつて、無くてはならない最高の温泉だね」と、川北温泉が大好きだと話す村上さん(71歳)。

「川北温泉」が好き

村上 順貞さん (西北標準)



この湯船の中で出会う楽しみがあるんですよ」。村上さんは笑顔で話します。

川北温泉愛好会の会員でもある村上さん。自らも浴槽や周辺のごみ清掃にもあたっています。「最近ではみんなマナーを守ってくれるようになりまして。ごみも落ちていないでしよう」。

「川北温泉を守り続け、これからも毎日この温泉に入りたいね」。大自然に囲まれた川北温泉に入る村上さんの表情は、幸せいっぱいに見えます。

私は、スチュワーデスになりたいです。なぜかと言うと、英語をしゃべれたり、飲み物はこびができるからです。とてもむずかしそうだけど、やってみれば楽しそうです。でも、なるには試験勉強をしなければなりません。あと、身長百五十 cm 以上ないとダメです。つまりそうです。でも、私はがんばります。

一回私は、大阪に行くときに飛行機に乗りました。お母さんと一緒にすわりました。一時間して、とつぜん気持ちが悪くなりました。でも、ちようどスチュワーデスさんがジューズをわたしてくれました。優しい人だなと思いました。スチュワーデスさんが、着ていたものやかぶっていたものは、ミニスカートと青い服に小さなぼうしをかぶ

My Dream
わ・た・し・の・夢



うめがき ま ゆ み
梅垣真優美さん (薫別小4年)

「スチュワーデスになりたい」

あと、世界中の飛行機に乗ってアメリカやイギリスに行ってみたいです。そして、一人前のスチュワーデスになって、新人の人を教えてあげたいです。つらいけど、つらい時のことや、トイレに行ってもどつて来てわからない時、人の手助けをしてみたいです。免許も取らなげやいけません。あと放送もしてみたいです。大変だけど私はどんなことがあってもがんばります。

って、きれいでした。そして、飛行機が急上昇して雲の上まで行ってきた。

私は、スチュワーデスさんが優しいなと思いました。私も優しいスチュワーデスさんになりたいなと思いました。

◆ このコーナーは、子供たちの将来の夢を小学校ごとにリレー方式で紹介しています。

若さで
アタック

YOUNG MAN / WOMAN

人に接する時の挨拶や言葉遣い、書類の計算ミスがないように気を付けています」と話す、今年四月から

榎上田組に勤務する半田さん。高校では、リコーダー部に所属しテナーを担当。二度の全道大会出場と、今年三月に



はん だ あや
半田 彩さん (北4西3・18歳)

同じ失敗を
繰り返さない

は東京都で開かれた全国大会で、金賞に導いた立役者のひと

り。会社の野球部のマネージャーも務め、チームからは『勝利の女神』として、また紅一点のチームメイトとしても信頼があつた。休日には、友人とドライブや旅行の計画を立てたり、自宅で邦画のビデオ鑑賞をして過ごすことが多いという。「今は仕事を覚える時期でもあるので、色々な仕事を早く覚えたい。また、同じ失敗を繰り返さないように慎重に仕事をしたい」

体は丈夫で、風邪など一度も寝込んだことがないね」と話す小場さん。

毎朝五時には起床し、夜九時過ぎには就寝する規則正しい生活と、間食をしない食生活、それと適度な運動で健康を保っているという。週に三

日は、古多糠神社横のゲートボール場に通い、仲間とプレーや規則正しい生活と適度な運動



お ば 小 場 ち ょ さん
(古多糠・84歳)

世間話を楽しむ。ゲートボールのない日には、友人数人と弁当持参で、道東の観光名所や新たに出来た公共施設めぐりを行う行動派。新聞や雑誌を読む事が好きで、毎日の新聞チェックは欠かさないという。また、昭和三十七年以來、一日の出来事を日記に書き続けている。「本人しか読めない字で書いているが、これを書かないと眠れなくて、これからも書き続けますよ」と素敵な笑顔で話してくれました。

標津漁港が防災拠点漁港に

標津漁港が根室管内で唯一、道内七番目となる防災拠点漁港として完成し、七月五日、同開港記念式典が開かれ関係者ら約百人が出席しました。

平成八年度に、防災拠点漁

港に指定され、根室管内が災害時の際、救護活動や物資輸送等を行うための活動拠点として重要な役割を担います。通常の二倍の耐震強度を持つ耐震岸壁百桁や液状化現象を防ぐ耐震道路三百十桁の整

備、大型巡視船が入港できる水深の確保や給電・給水のできる施設が整備されました。

式典で小田桐町長は「本港は根室海峡の拠点地域に位置することから、災害時に本港を拠点とした防災活動が迅速に行われ、住民の安全を守る上で必ずや重要な役割を果たすことになる」と述べたほか、テープカット後には、当海域に配備されている最大の砕氷型巡視船「てしお」の一般開放が行われ、地元小学生や親子連れが船内を見学しました。

観光案内所が 国道沿いに移転

町観光協会の観光案内所がこのほど、観光客の目に付きやすい国道二四号沿い（南二西一）に移転しました。

観光シーズンの秋までの期

間、臨時職員を常駐させ町内の観光施設や旅館などを案内します。

また、サケ漁の網起こし見学やイクラづくり、酪農体験などの体験型観光メニューも紹介します。



シーズン中は無休で、午前十時から午後五時まで。
（☎212265）

パークゴルフで 体験型観光を

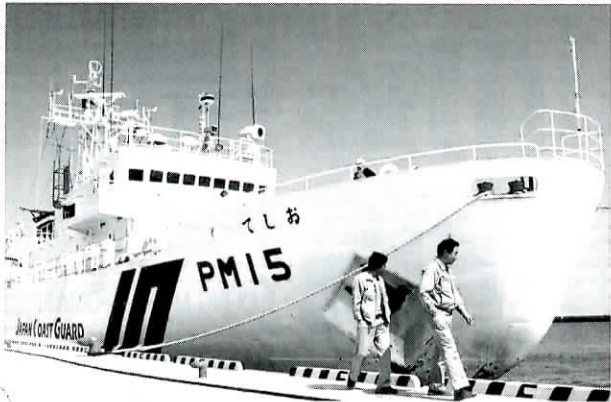
今年で二年目となる、標津パークゴルフ交流ツアーが、

七月五、六日の両日、町エコ・ツーリズム交流推進協議会の主催で実施されました。

道央圏から十六人が参加し、川北・望ヶ丘パークゴルフ場を会場に、地元愛

好家と共にプレーを楽しみ、サーモン科学館や野付半島を見学後、番屋ではイクラ丼や三平汁を味わいました。

ツアーに参加した札幌在住の岩瀬さんは「昨年から参加しているが、地元の人がとてもやさしく対応してくれる」と好評です。



北・北海道大会で堂々3位



七月二十日から遠軽町で開かれた高円宮賜第二十二回全日本学童軟式野球北・北海道大会で、標津小学校の少年野球チーム・標津ジャガーズが堂々の三位になる活躍を見せました。

七月二十日から遠軽町で開かれた高円宮賜第二十二回全日本学童軟式野球北・北海道大会で、標津小学校の少年野球チーム・標津ジャガーズが堂々の三位になる活躍を見せました。

レベルの高いこの大会には、地区予選を勝ち抜いてきた小学生の強豪十六チームが出場。標津ジャガーズの一、二回戦は、旭川と釧路のチームと対戦。8-3、7-0と投打がかみ合い快勝。準決勝となった3回戦では、帯広の

チームと対戦。最終回(七回)ツーアウトまで1-0でリード。しかし、あと一歩のところで逆転負け。結果、対戦したチームが優勝しました。

同校の話によると、この大会で過去の記録では一回戦突破が最高。今大会の活躍は同校にとって、大きな実績となりました。

五ノ井監督は「選手は全方プレーで、本当によくやってくれた。この実績を後輩が受け継いでほしい」と話しています。



車イス購入費として 20万円寄付

敬栄寺同朋婦人会は6月25日、車いす購入費として20万円を町に寄付しました。

この寄付は、同会の社会奉仕活動の一環として、会員が5年ほど前から集めてきたもの。篠田光子会長は、「会員がコツコツと集めてきたお金。社会のために少しでもお役に立てれば」と話しています。

町では寄付金で、車いすを購入し、はまなす苑のお年寄りに有効に使ってもらうことにしています。

12年目の奉仕活動

七月五日、町内で清掃業を行っている(有)和光では、野付半島ボンニタイ公園にある北辺防衛会津藩士顕彰碑の清掃奉仕を行いました。

今年で十二年目。石碑の汚れをブラシで丁寧に洗い流し、その周辺の草刈作業を行いました。白井社長は「今後も奉仕活動を続けていき、少しでも地域のお役に立ちたい」と話しています。



「ほくらほ探検隊だよ」



自然の豊かさを肌で感じてもらおうと、七月十四日、蕨別地域の子供たち二十八人が、蕨別川で魚捕りや川下りを楽しみました。

この蕨別川探検は、地元住民が実行委員となり実施しているもので、今年で三年目。

子供たちは、手網でヤマメやイワナなど約五十四匹をすくい大喜び。その後、ゴムボートで川下りを体験し歓声をあげていました。

— シベツのチャシ —

エリモンクル伝説 (前編)

む

かし、むかし、シベツ川の右岸の小高い丘の上に、ホニコイチャシがありました。そのころのシベツ川は、現在のようにまっすぐ海へ流れこむのではなくて、海の近くでぐんと南の方へまがり、海岸線と平行して流れ、現在の望ヶ丘公園の近くで海に注いでいました。ホニコイチャシは望ヶ丘公園付近だったと思われまふ。

そこは見はらしがよく、シベツ川に秋味(鮭)がのぼってくるのもちはやくわかり、裏山の方にはギョウジャニンニク、ワラビ、フキ、キノコ、ブドウ、コクワなど山の幸がたくさんあって、ここに住むアイヌにはすばらしい所でした。

しかし、困ったことが一つありました。ホニコイチャシより南方を流れるチャシコツ川のほとりにあるチフルチャシのアイヌとは、むかしから仲が悪く、争いがたえずおこっていました。チャシコツ川は野付湾に注いでいますが、下流は舟が行き来し、コイトイ(野付半島の幅がせまく外海が荒れた時は波が川の方までとどく所です)で、砂の上を舟を引いて外海と行き来しました。それでチャシコツ川

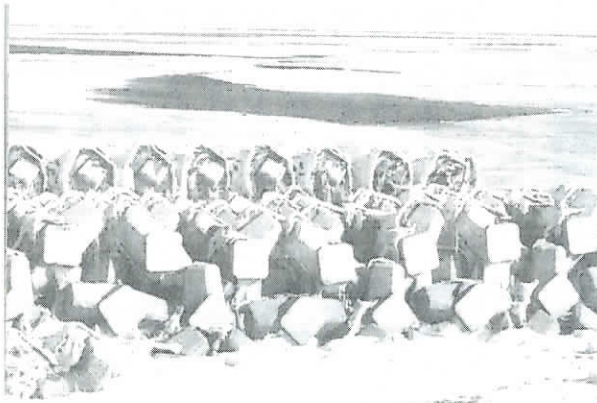
の川口からコイトイまでの間をチフル(舟の路)ともいいました。それでチャシコツ川の川口近くにあるチャシを「チフルチャシ」と呼んでいました。

ホニコイ軍とチフル軍とでは、どちらかといえばチフル軍の方が少し強くて、ホニコイチャシの人たちはくやしい思いをしました。

今日もまた争いです。けが人もふえてきました。どちらの軍ぜいも、はやく勝つて争いをやめたいと思っていました。

両方の軍の総大将は、それぞれが勝とうとしていろいろな方法を考えて争い、なかなか勝負がつきませんでした。

ある日、ホニコイチャシにエリモンクルという人が修行にきました。大へん知恵があるうえに、力持ちで強い人なので、ホニコイチャシの人はエリモンクルを頼りにし、ホニコイ軍の軍



師(はかりごとをめぐらす人)になつてもらいました。それからというものの、戦さのたびにホニコイ軍は勝ち続けました。

エリモンクルは、竹で編んだブドウづるの皮をつけた帽子をかぶり、竹で編んだ細縄でつないだよろいを着ていました。そしてその上にホクユクという熊

の皮で作ったチョッキを着ました。顔は長いひげをはやし、ひたひたには青筋が三本ありました。ふだんはあまりしやべらず、静かです。やさしい目をしていました。しかし、戦になつて命令をするときは、蛇がひたひたとまわって動いているかのように、青筋が動いて、それはそれはこわい顔になりました。

く気のつく、心も姿も美しい娘でした。

チフルチャシの大將はトシャムコロといいました。年はおよそ百四、五十歳ですが、若い人に負けず力持ちで、誰もかいませんでした。その上、とても情深い人だったので、この地方のアイヌ数千人はトシャムコロのいうことをよく聞きました。

トシャムコロは、チフル川からシユンベツ川(別海町春別)までの総大將でもありました。トシャムコロはノツケ湾内にあった。かれには子どもがいないので、たくさんの宝物をゆずる人がいます。それで、いつもどうしたものか悩んでいました。また戦いはじまりました。

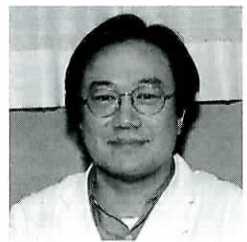
軍師エリモンクルは今までにない計画を考えました。それは、はだかの女の人に敵の前を走ってもらおうというものでした。敵が女の人にみとれて油断しているところを攻めこもうという計略でした。

エリモンクルは大好きなコエカイマツをときふせました。コエカイマツはいやがり、なかなか承知しませんでした。エリモンクルのためにしるしを出かけることにしました。

こんにちは 標津病院です

帯状疱疹とは、どのようか。大人になるまでに、ほとんどの人は「水ぼうそう」にかかるものですが、この水ぼうそうのウイルスは、治癒した後も体の中の神経の根元にじっと潜んでいるのです。そして、風邪をひいたり、加齢によって体の免疫力が低下したときなどに、このウイルスは再び活動を始め、患部の皮膚に神経の痛みと、発疹をおこします。これを帯状疱疹と呼びます。

症状は、発疹が現れる一週間ほど前から神経の痛みが現れ、次に神経の分布に沿うように、中心部に「水ぶくれ」を伴う、少し盛り上がったような形の発疹が、いくつかの集まりになつて皮膚に出現してきます。



標津病院

大野 高 義 院長

「帯状疱疹について」

この皮疹は特微的なので、この時点で帯状疱疹の診断をつけることができます。

また、帯状疱疹は、顔面、頭部など、体のどこにでも出ることがあり、顔面神経麻痺などを合併することがあります。

治療は、抗ウイルス薬を服用したり、塗布することによって二〜三週間ほどほとんどの人が治癒しますが、中には頑固な神経痛の後遺症を残す場合があります。

これを帯状疱疹後神経痛と呼びますが、できるだけ早期に治療を開始することで、後遺症を抑えることが可能になりますので、痛みを伴う水疱が体にできた場合は、なるべく早く医療機関にご相談ください。

また、帯状疱疹にかかった場合の生活上の注意としては、体力を落とさないように栄養と睡眠などの安静をなるべくとるように心がけ、また、入浴の際などには、水疱をつぶさないようにして、患部を清潔にするように心がけてください。

友好都市・青森県 大畑町では…

(37)

ふるさと教育副読本 “わたしたちの大畑”



各小中学校の先生方十四人が自分たちの足で資料を収集しながらデジタルカメラやパソコンを駆使し、一年がかりでまとめ上げたもので、写真やさし絵、町内の方々の談話など、編集に携わった先生方の情熱と暖かさが伝わってきます。

大畑町教育委員会では小学校三・四年生向けに大畑町の歴史や祭り、産業などをわかりやすく編集したふるさと教育副読本「わたしたちの大畑」(B五判、百四十ページ)を二百七十部作成し、町内六校の児童に配布しました。

これは、大隅弘二氏(教育委員会)を編集委員長に町内

いまの子どもたちから次代の子どもたちへと「おおはた」が正しく理解され、着実に受け継がれていく。そんな手応えを感じさせる一冊です。

※このコーナーでは、友好都市のお互いの話題を毎月の広報紙で紹介しています。

町長の動静

(6月21日〜7月20日)

【6月21日】

道漁業信用基金協会理事会ほか

(札幌市)

【6月29日】

21世紀のまちづくりと市町村合併講演会

【7月5日】

標津町防災拠点漁港開港記念式典

【7月7日】

自由民主党麻生政調会長来管に伴う要望会(中標津町)

【7月9日】

都市漁村交流推進協議会発起人会(東京都)

【7月11日】

北方四島交流ロシア人青少年表敬訪問対応

【7月12日】

少年の主張根室支庁地区大会

【7月16日】

道海岸農地保全対策事業促進協会役員会及び総会(札幌市)

【7月17日】

標津町民祭り水・キラリ実行委員会

【7月18日】

釧根道議との意見交換会(釧路市)

【7月19日】

根室北部廃棄物広域連合設立式(別海町)

(別海町)

ねむろぐるっと夏の交通安全キヤラバン隊来庁対応

(以上主なもの)

8月5日からスタートします 「住民基本台帳ネットワークシステム」

■住民基本台帳ネットワークシステムとは

平成11年の住民基本台帳法の改正によって、全ての市町村の住民に、11桁の数字からなる住民票コードが付番されることになりました。このコードに基づき、地域の枠を越えて全国の市町村及び国の行政機関などに本人確認情報を提供するシステムです。このことにより、行政機関などの事務の軽減、また住民の方の負担を軽減することができます。

■8月中旬に皆さんの「住民票コード」を通知します

住民基本台帳ネットワークシステムを

運営するため、8月中旬に「住民票コード通知票」を全世帯に送付します。これには皆さんに付番された住民票コードが記載されています。

この住民票コードは個人情報と同様となるものですので、他の方に見られないようにするなど取扱いに十分注意され、大切に保管してください。

■こんなところが便利になります

このシステムにより住所・氏名などの確認ができるので、恩給や年金の現況届や各種資格申請の証明など、国や道の行政機関に提出する住民票や証明を、役場

まで受取に行くことが少なくなります。

また、来年の8月から全国どこの市区町村でも住民票の写しの交付が受けられるようになり、転出の際の手続きも、転入時の1回で済ませることが出来ます。

■個人情報は固く守られます

住民基本台帳ネットワークシステムは、大切な個人情報を取り扱うことから、個人情報の保護を最も重要な課題としています。このため、民間部門での住民票コードの利用禁止や個人情報の送信に専用線を用いるなど制度面、技術面、運営面から個人情報を保護します。

★お問い合わせは、住民課まで。

BOOK ROOM

今月のおすすめ

新刊



『走馬灯の夜』

寒川猫持著 新潮社刊

「身から出たサビが翼にこびりつき 神さま僕はもう飛べません」などの歌を詠む作者の小説集。ついでにエッセイ集「面目ないが」も併せて読むとおもしろいですよ。

『老婆は一日にしてならず』

吉永みち子著 東京書籍刊

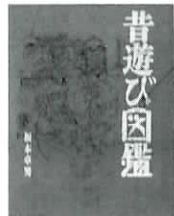
団塊の世代が50歳を迎えて考えたこと、40代では景気よくぶちあげていた明るく楽しい老後のプランは次々と修正を余儀なくされたと著者はいいます。



『昔遊び図鑑』

坂本卓男著 東京書籍刊

むかし、テレビゲームなどなかった時代いろいろな遊びがありました。「三角ベース」「カン蹴り」「ビー玉」「ボールの屋根上げ」。そんな遊びを紹介した本。



●今月の特集：夏だ！海だ、山だ、キャンプだ、旅行だ。

今年も半分が過ぎ、もう夏です。予定はもう決まりましたか？

今月は、夏のレクリエーションに役立ちそうな本を集めました。

その他の新刊 (☆は注目の本)

< 一般 >

- ☆「ビューティフル・マインドー天才数学者の絶望と奇跡」シルヴィア・ナサー著 新潮社刊
- ☆「読んだ気になる日本の古典」千明守著 PH P 研究所刊
- ☆「魚の棲む城」平岩弓枝著 新潮社
- ・「空のオルゴール」中島らも著
- ・「かきおき草子」瀬戸内寂聴著
- ・「善根宿」坂東真砂子著
- ・「ふらっとアフガニスタン7泊8日」辛坊治郎著
- ・「日本一短い手紙 ーいのち」福井県丸岡町編
- ・「図解雑学 環境ホルモン」中原英臣監修
- ・「金子兜太の俳句の作り方が面白いほどわかる本」金子兜太著

< 児童 >

- ☆「おばあちゃんはハーレーにのって」ニーナ・ボーデン著
- ☆「明日にむかってシュート」森本和子著
- ☆「キャプテン翼の必勝サッカー」副島博志監修
- ・「ウタブタコブタ事件」角野栄子著
- ・「わたしのママは魔女 すてきなまほうつかいの男の子」藤真知子著
- ・「めっちゃウケ！爆笑心理ゲーム」MyBirthday編集部 編
- ・「モテモテ 相性占い&ゲーム」MyBirthday編集部 編
- ・「きょうりゅうサイダー」はしもとかおり著
- ・「海そうシャンプー」魚住直子著
- ・「まるごとプチおばけ」三輪ほう子編

スポーツ

☆ 8月のスポーツ ☆

- 4日(日)
第6回標津国際水中バレーボール選手権大会〔9時～サーモン科学館前〕
- 18日(日)
管内少年野球町内予選
〔10時～町営球場〕
マリンバンクパークゴルフ大会
〔9時～望ヶ丘パーク場〕
- 20日(火)～22日(木)・27日(火)～29日(木)
子供水泳教室
〔19時～町営プール〕
- 21日(水)・23日(金)・28日(水)・30日(金)
わんぱくスポーツ教室
〔15時～川北体育館・総合体育館〕
- 24日(土)
学校週5日制に伴うスポーツ施設解放日
〔9時～総合体育館・川北体育館〕
24時間マラソン卓球大会
〔15時～総合体育館〕
- 25日(日)
馴山旗争奪野球大会
〔8時～町営球場他〕
コンサドーレサッカー教室
〔9時～高校サッカー場〕
- 27日(火)
町長杯ゲートボール大会
〔9時～ひまわりゲートボール場〕
- 31日(土)
ニュースポーツチャレンジデー
〔10時～町営リンク〕
管内硬式卓球選手権大会
〔9時～総合体育館〕

汲み取り

し尿の汲み取りの 申込みは忘れずに

9月のし尿の汲み取りの実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は、忘れずにお申し込みください。

■汲取実施地域

標津市街・住吉町・東浜町・茶志骨・古多糠

■申込期限 8月23日(金)まで

★お申込み・お問い合わせは、住民課まで。

8月の健康相談・健診日程

乳 幼 児

- 離乳食教室
29日(木)
〔13時～15時30分～／ひまわり〕
- 乳幼児相談
20日(火)〈標津〉
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児 午後
の部～7・10ヵ月児対象
21日(水)〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕
※7・10・13ヵ月児対象
- 2歳児相談
20日(火)〈標津〉
〔9時～10時／ひまわり〕
21日(水)〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕
- 4～5ヵ月児健診
26日(月)
〔13時30分～15時／ひまわり〕

- 1歳6ヵ月児健診
26日(月)
〔9時45分～12時／ひまわり〕
- 3歳児健診
27日(火)
〔9時～12時／ひまわり〕
- 歯ピカ教室
5日(月)
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／ひまわり〕

成 人

- 一般健康相談
30日(金)
〔13時～14時／ひまわり〕
 - 糖尿病健康相談(予約制)
22日(木)
〔10時～16時／ひまわり〕
 - リハビリ教室
19日(月)
〔10時30分～13時／ひまわり〕
- ★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで。

ごみの収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	14日(水) 28日(水)	7日(水) 21日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	12日(月) 26日(月)	5日(月) 19日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	13日(火) 27日(火)	6日(火) 20日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

農業委員会

新しい「農業委員会委員」 決まる

農業・農業者の代表機関である委員を決める第18回標津町農業委員会委員選挙が7月2日に告示され、委員定数と同数の10人が立候補し、無投票で次の方々が当選されました。任期は、平成14年7月20日から平成17年7月19日までの3年間です。(敬称略)

- ▷渡部 勉 (伊茶仁)
- ▷荏澤喜代司 (北川北)
- ▷栗栖 敏博 (北標津)
- ▷渡邊 登 (東川北)
- ▷小笠原一郎 (西川北・議会選任)
- ▷木村 正一 (南川北)
- ▷五百木 功 (西川北)
- ▷古澤 道郎 (古多糠)
- ▷草野藤吾郎 (北古多糠)
- ▷大石 順一 (茶志骨)
- ▷大桃 幸男 (北標津・農協選任)
- ▷川瀬 久宜 (南古多糠・議会選任)
- ▷田中 陽一 (西北標津)

公園

川北農村公園を ご利用ください



川北農村公園内にシルバー勤労会がバーベキューコーナーをつくりました。炭や鉄板などは各自で用意してください。

また、キャンプ場としても利用できますのでどうぞご利用ください。

なお、ゴミは各自で持ち帰り願います。
★お問い合わせは、公園管理課まで。

このような業務を 行っています

町農業委員会では、農用地の売買・貸借に伴う移動、工業用地などに変更する転用、農用地に関する諸証明・相談、農業者年金事務など、農業者はもとより町民の皆さんに関する諸業務も担当しています。

～お 願 い～

- 牧草地の中に空き缶やビニール袋、発泡容器などの散乱が見受けられます。

空き缶により作業機が損傷したり、発泡のくずが収穫の際に牧草に混入し、乳牛の疾病にもつながりますので、空き缶やゴミの投げ捨てはやめましょう。

- 山菜採りに牧草地の中に車で進入したり、牧草地の取付道路に車を駐車しているケースがあります。作業機が牧草地に入らず、草刈りに影響が出ますので、これらのことは絶対にしないようお願いします。

★ご相談、お問い合わせは、各地域の農業委員または町農業委員会まで。

電気

建設作業機械等との 感電事故防止について

送配電線との接近・接触により、事故が発生すると、感電死傷の人身災害を伴うことが多く、また地域一帯の大停電となることから社会活動に及ぼす影響は甚大なものとなります。

送電線及び配電線付近で作業を実施される場合には、次の事業所に事前連絡され、打合せのうえ作業をされますようお願いいたします。

★連絡先

- ▷ほくでん中標津電力所送電課
(☎01537-2-3339)
- ▷ほくでん中標津営業所
(☎01537-2-2010)

戸籍の窓口から

(6月11日～7月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

伊藤 浩樹さん・富田 幸枝さん (伊茶仁)
千葉 謙太さん・土谷 絵理さん (本町)
小林 忠博さん・寺坂 亜貴さん (桜ヶ丘町)

■お誕生おめでとう

(保護者)
島貫 瑛羅くん (東茶志骨) 雅 隆・由美子
野口 昂くん (共栄旭町) 剛 志・美香
佐藤妃真里ちゃん (西古多糠) 哲也・加奈子
谷川 蒼くん (桜ヶ丘町) 俊彦・良子
方波見優衣ちゃん (曙町) 悟・由美

■おくやみ申し上げます

小田原松夫さん (西川北) 90歳
菅原キヌ子さん (望ヶ丘町) 76歳
高橋 勲さん (弥栄町) 93歳
西 キヌさん (共栄旭町) 83歳
阿部 コメさん (寿町) 88歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●町に――

・敬栄寺同朋婦人会

●町社会福祉基金に――

・戸田 数江さん

●町体育文化振興基金に――

・工藤 憲二さん

●町社会福祉協議会に――

・小田原千代子さん・工藤 憲二さん
・阿部 茂雄さん・聖友標津支所

●はまなす苑に――

・沢向 幸雄さん・福地 広一さん
・北庄 登さん・曙町内会婦人部
・標津・川北・蕨別郵便局・さわやか友の会
・根室組仏教婦人会連盟

●標津病院に――

・菊池 礼子さん・菊池さゆりさん
・陶山 仁郎さん・林 京子さん
・(故)高橋勲さん

●図書館に――

・今野 昇さん

●ポー川史跡自然公園に――

・上田 秀雄さん・今泉 順一さん

国民年金は、
あなたが
主人公です

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

もしも、家の働き手に先立たれたら… 遺族基礎年金

国民年金加入中の死亡または老齢基礎年金を受ける資格期間(原則として25年)を満たした人が死亡したとき、その人によって生計を維持されていた子のある妻または子に、子が18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間(1級・2級の障害のある子のある場合は20歳になるまで)支給されます。

■年金が受けられる要件

- ①国民年金の被保険者であること
 - ②国民年金の被保険者であった人で、日本国内に住所を有し、60歳以上65歳未満であること
 - ③老齢基礎年金の受給権者であること
 - ④老齢基礎年金の受給資格期間を満たした人であること
- ただし、①、②の場合、被保険者期間のうち保険料納付済期間(保険料

免除期間、学生納付特例期間を含む)を合算した期間が3分の2以上必要です。

■年金額(平成14年度)

遺族基礎年金の年金額は、804,200円です。子の加算額を加えると、次のとおりです。

子の数	年 金 額
1人のとき	1,035,600円
2人のとき	1,267,000円
3人のとき	1,344,100円
4人のとき	3人のときの額に1人につき77,100円を加算

■社会保険事務相談所開設日

▷日 時 8月20日(火) 13時～17時

▷場 所 中標津経済センター

※ご本人や配偶者の年金番号、加入期間等を調べてお越しください。

★お問い合わせは、福祉課まで。

福祉

児童扶養手当制度が改正されます

現在、母子家庭(公的年金受給者及び一定額以上の所得者は除く)に対し、国から児童扶養手当が支給されています。

就労等による自立を促進するために8月から所得制限の限度額と、一部支給額が変更されます。

■一部支給は、所得に応じて42,360円～10,000円まで10円きざみの額に変更されます。

■ご本人の所得範囲は、養育費の8割を加算し、寡婦・寡婦特別加算の控除を廃止するなど計算方法が変わります。

■現況届の提出期間は、8月1日～31日までです。お早めに手続きを済ませてください。

★お問い合わせは、福祉課まで。

追悼

「殉公者追悼式」を開催します

過ぐる大戦において戦役に就かれ、国の行く末を案じながら没せられた方々と、公共のため献身的に努力され、その職に殉じられた方々に対し、追悼の誠を捧げると共に、平和への誓いを新たにするため、町殉公者追悼式を次のとおり行います。

■日 時 8月8日(木) 午前10時

■場 所 望ヶ丘公園内忠魂碑前

(雨天の場合、文化ホール)

※午前10時にサイレンを吹鳴しますので、その場にて黙とうをお願いします。

★お問い合わせは、福祉課まで。

郵便局

「北海グルメ会」会員募集中

毎月毎月、お国自慢の逸品と出会えるおいしさ巡り。「あの土地、あの味」をいちばん旨い旬の季節にお届けします。

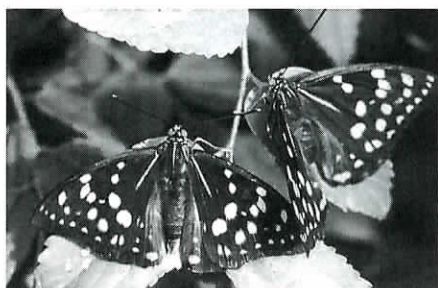
★お問い合わせはお近くの郵便局まで。

サーモン科学館 8月の見どころ

～夏休み特別企画～

「国蝶オオムラサキとその仲間たち」

今回の企画は、栗山町からオオムラサキのサナギ15体をお借りして羽化、成



虫となる様子が観察できます。

また、羽化の観察と合わせて全国のオオムラサキと同じ仲間の蝶(ゴマダラチョウ、コムラサキ他)の標本を展示します。

■会 場 同科学館サケ談話室

■期 間 8月1日(木)～25日(日)

★お問い合わせは、同科学館(☎2-1141)まで。

「人が輝き、標津が燃える」

標津町民祭り 水・キラリ

■開催日 8月3日(土)・4日(日)

■会 場 サーモンパーク・標津市街ほか

※曳き山巡行にみんなで参加しよう!

「タイムスリップ」

皆

さん、今日は。北標津小中学校に勤務している大井誠一郎と申します。私をこのたび紹介してくれた住吉さんは、かつて川北小の同僚でして、昨春に偶然隣町から揃っての帰郷でした。

ンコダンスに象徴される通りです。天才や巨匠の輩出もこの風土ならではの証と感心したほどです。我が国を遠く遙か彼方から距離を置いて見ることができた経験も今では重宝しています。

さて、韓国・日本両開催国発進で、世界中を沸かせたサッカーのワールドカップはまだ記憶に新しいところですが、その強豪チームの一角にスペインが健闘していたことは誠に懐かしく本当にうれしい限りです。

今から二十年以上も前ですが、スペインは国内サッカーリーグ戦が最高潮に沸いていたこと記憶をしていて、今回のワールドカップをきっかけに蘇りました。スペインは在外日本人学校の関係で派遣教員として三年間お世話になった国でした。開けっ広げで、人なつっこく、強烈な情熱をストレートにぶつける表現豊かな芸術性は闘牛やフラメ



大井誠一郎さん Seichiro Ooi
北標津（北標津小中学校勤務）

カトリック教国ならではの風物詩は、仮装パレードの光景！キリスト生誕に因んで、聖母マリアを崇めるカーニバルは、地域をあげて盛大に練りひろげられます。老若男女が練り歩き、踊る風情は絵に描いたような...

邦人会のメンバーで手造りの

お神輿をかつ

ぎワッショイ

ワッショイと

練り歩くなど

毎年趣向を凝

らした企画に

子どもたちも

積極的に参加

して楽しいま

した。

今、振り返

つてみると、

ノンビリズム

の国に一住民

となつて暮ら

した当時のス

페인から学んだ

ことでは、各

地域の風習や

伝統を受け継

ぎ基盤が立派

に確立されて

いたという歴

史的な重みを

ずつしり肌で

感じたのでし

た。

- ☆標津町民憲章☆
(昭和46年11月3日制定)
- ◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
 - ◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
 - ◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
 - ◇心を豊かにし文化を高めましょう。
 - ◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽「標津のここが好きなんです。」の取材で秘湯・川北温泉へ。東京からバイクでの旅行者に出会い、話をする機会がありました。その人はこの温泉にきたのが初めて。愛好会がボランティアで管理していることなどを説明。▽いろいろ話をしているうちに、「8月号の広報紙を見たい」ということになり、送る約束をしました。取材した村上さんが言っていたとおり、まさに遠方の人との「出会いの場」でした。

▽管内唯一の防災拠点漁港が完成し、砕氷型巡視船「てしお」が入港できるようになった標津の港。開港式で目見えた「てしお」はとても大きい。災害時に、陸路や空路が使用できない場合、負傷者や物資の搬送に威力を発揮してくれそうです。▽北海道東方沖地震から七年が過ぎ、防災意識も薄れていきます。あの地震を教訓に、ご家庭でも避難場所の確認や備蓄品の確保など、今一度再確認してはいかがでしょうか。

人のうごき

・人口 6,363人 (-5)
・男 3,105人 (-5)
・女 3,258人 (±0)
・世帯数 2,378世帯 (-2)

◇平成14年7月1日現在
()は前月比

町内の交通事故

・人身事故 0件 (9)
・負傷者 0人 (16)
・死亡者 0人 (1)
・物損事故 11人 (102)

◇平成14年6月1日～6月30日まで
()は累計

9月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを済ませた方のみ受講できます。

■日時 9月3日(火) 13時30分～
■場所 標津町生涯学習センター
★お問い合わせは、住民課まで。